木化クズ

中　川　清太郎

『新津植物資料室年報』2007号に佐渡での木化クズの記述があるが、2010,11,10に今回それを上回るクズに出会ったので報告したい（写真1～4）。

場所は小佐渡、経塚山に程近い真野と畑野の界を流れる竹田川の渓流部、夕暮の滝（ゆうぐりのたき）への道中（写真1）、コナラ、イヌシデ、ヤマモミジなどの落葉樹林内である。

10メートルほど地面を這い回り（写真4）、その先真直ぐに立ち上がっているが、梢のことはよく分からない。

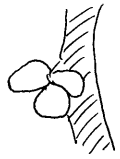
根元付近の幹周は52cm、地上1,3mで32cmであった（写真2）。さいわい胴吹きした細い蔓にクズの葉が付いている。雨に濡れたクズの幹は真っ黒であり、森林内でもよく目立つ。見るとナナフシも動かず止まっていた。

クズの木化を探す目安

クズの落葉前の葉は、白っぽく、コナラの紅葉が終わり葉がほとんど落ちてしまった11月中下旬頃、クズの白い葉は遠目にも分かりやすい。異常に高い位置にクズの葉が見られたら木化しているようです。

西三川の小布勢神社の社叢林（佐渡市指定天然記念物）には、かつて10本ほどの木化クズが見られた。

ここにナナフシが



細い枝の葉

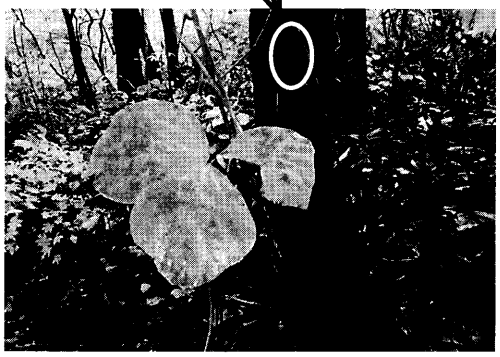


写真2　クズの木幹周32cm（細い枝に葉をつけている）

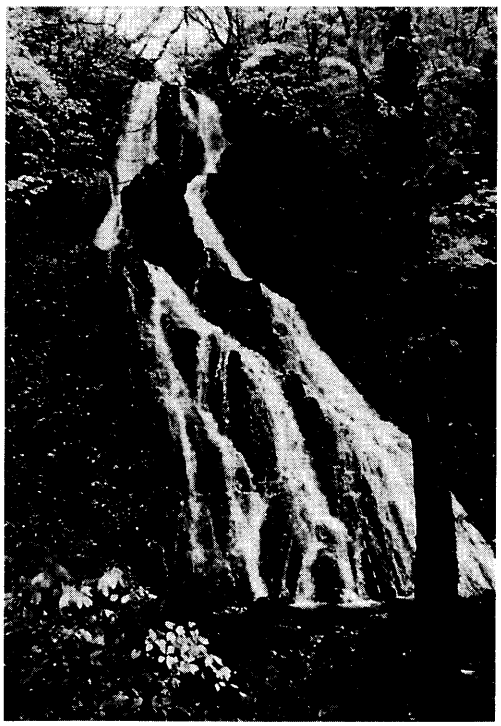
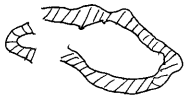


写真1　夕暮の滝（この滝の下右岸にクズ生育）

写真3　「クズの木」の根元（幹周52cm）



地表の幹

写真4　地表をのたうちまわる「クズの木」の下部